

国内外の産業動物衛生情報

2009年1月～12月

年月日	国内	海外
2009.12.14		韓国で HPAI H7N2 亜型(弱毒タイプ)発生
2009.11.25		フランス政府との間で、弱毒型鳥インフルエンザの発生時に発生国全体から家禽や家禽肉の輸入を停止するのではなく、発生地域だけを輸入停止とする「地域主義」を導入することで合意発表(農水省)。地域主義を導入するのは米国などに次ぎ 5ヶ国目。
2009.11.7	オーストラリアが来年3月から、牛肉の輸入条件を緩和。BSE発生国からの輸入について、同国政府がリスク管理体制や安全性などを確認できれば認める。日本などと同様の対応方針。これまでBSE発生国からの輸入は、全面的に禁止されていた。	新型インフルエンザによる死者数は 6071 人。地域別では北米と中南米で 4399 人に達した。今回の新型インフルエンザは豚から人に感染したとされるが、猫や七面鳥、フェレットでも感染が報告されている。動物への感染は散発的なうえ、既に人から人への感染が大きく広がっているため「全体に影響はない」(WHO)
2009.10.30		タイ政府家畜衛生当局は、平成 13 年 9 月に日本で牛海綿状脳症 (BSE) が発生以来、日本産牛肉について輸入を禁止していた。が、両国政府で協議してきた結果、日本産牛肉のタイへの輸入条件が合意に達し、日本からタイに輸入される牛肉の輸入停止措置が解除された。
2009.10.23	大阪府の養豚農場で移動自粛要請解除。新型インフルエンザに感染した豚が確認されていたが、清浄性が確認された。25 日に出荷再開予定。	
2009.7.21	動物検疫にて米国産牛肉に米国農務省発行の衛生証明書に記載がない牛肉が 2 箱(含脊柱)含まれていた。	
2009.6.23		北米の感染者から検出された新型インフルエンザウイルスは、長い間、ブタの集団の中で広がっていたようである(CDC,英ケンブリッジ大)
2009.6.16	豚丹毒、豚マイコプラズマ肺炎用の飲むワクチンを開発した(動物衛生研究所)。飲み水に混ぜて容易に投与できるため労力が軽減できる。価格も安く、豚にストレスもかからない	
2009.5.26	OIE は日本産牛肉の BSE の安全性について「リスクを管理している国」に認定した。日本外、米国やフランスなど 31 カ国が認定されている。	
2009.5.25	愛知県豊橋市のウズラ農場で 2009 年 2 月、HPAIV 検出問題で、農林水産省疫学研究調査チームが当該ウイルスは約 7 年前に同市内の農場に侵入し、ウズラの間で受け継がれていたと報告。	
2009.5.20	「ピッキング」が、今年度から国内すべてのと畜施設で中止。 国内で初めて感染が確認された患者から採取した新型インフルエンザウイルスが米国やメキシコなどの患者のウイルスと一致した。 農林水産省は HPAI 対策本部、愛知県のウズラ産業の再生支援、感染経路の究明へ	中国、陝西省漢中市で牛の口蹄疫が発生

2009.5.11	愛知県豊橋市のウズラ農場での HPAI 発生(2 ヶ月半) 終息宣言	
2009.4.29		インドネシアでは高い確率で、豚が HPAIV (H5N1 型)を保有(神戸大感染症センター)。4 州、402 頭豚中 52 頭の豚が H5N1 型保有。
2009.4.25		メキシコで『ブタインフルエンザ』のヒト-ヒト流行。死者発生。(これはメキシコ風邪と呼んだ方がいいのではないか?末吉)
2009.4.11	国内動物園で飼育するコアラの9割近くが、白血病などを起こす恐れのあるウイルスに感染(日本動物園水族館協会調査)。2007 年～国内飼育コアラ50頭中43 頭で感染確認。	
2009.4.4	国内の野生のアライグマの一部が高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1 型)に感染していた(東大医 科研と山口大学)。2005 年～アライグマ 988 頭中 10 頭からH5N1 型感染抗体を検出。死んだ渡り鳥などを 捕食して感染した可能性がある。	
2009.2.28	愛知県豊橋市のウズラ農家で HPAI が検出。約 26 万 羽の殺処分が始まった。半径5キロ圏内の 23 農家を 対象に、ウイルス検査開始。	
2009.2.27	愛知県豊橋市のウズラ農場で、HPAI「H7N6」が検 出。半径 10 キロ以内の鳥や卵の移動を禁止する措置 を取ったが、弱毒性と判明したことから、5キロ内に縮 小。しかし、弱毒タイプということは、ウズラは無症状だ から、広く分布していても分からない場合があるという こと。移動措置を縮小するのは間違っているのではない か。	
2009.2.17		台湾で口蹄疫(O 型)発生。2 月 4 日、YUN-LIN の養 豚場(68 頭飼養)の 8 頭で発症。2 月 9 日、CHANG- HUA の養豚場(6,112 頭飼養)の 23 頭発症。今回も 旧正月明け。2000 年 3 月 25 日の悪夢が再来しない ように要注意。
2009.1		中国、貴州省の男性(29)が鳥インフルエンザ(H5N1 型)に感染、重体。中国国内での感染者は今年に入 って 6 人目、うち 4 人が死亡 フィリピン、豚のエボラ出血熱ウイルス感染。養豚関係 者がフィリピン豚にエボラウイルス感染、血液検査で 発見、未発症。 韓国(忠清北道陰城郡のアヒル農場)で弱毒性の高病 原性鳥インフルエンザ(H5N2 亜型)が発生。アヒル約 6800 羽殺処分終了。